

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	骨盤骨折の出血量に影響する因子の検討		
1. 研究の目的と方法	骨盤骨折は一般的な骨折と異なり死亡率が高く致死的な外傷の1つです。初期治療は出血のコントロールであり、止血処置・骨盤骨の安定化や輸血投与の迅速な判断が重要です。骨盤骨折における出血の予測因子が解明できれば介入が早期となり、死亡率の低下や輸血量を減らすことができる可能性があります。本研究は骨盤骨折における出血の危険因子を検討することです。		
2. 研究期間	承認日～2026年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	研究機関：柏病院 対象となる方：2014年1月から2021年12月までに、慈恵医大附属柏病院で骨盤骨折と診断された方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（画像検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学附属柏病院 整形外科
		氏名	曾雌 茂
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学附属柏病院 院長 吉田博	
	(3) 試料・情報の管理責任者	東京慈恵会医科大学附属柏病院 整形外科 稲垣 直哉	
(4) 共同で研究を実施する機関とその責任者	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。		
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。		

【問い合わせ先】	東京慈恵会医科大学附属柏病院 整形外科 研究責任者：教授 曾雌 茂（そし しげる） 窓口担当者：助教 稲垣 直哉（いながき なおや） 電話：04-7164-1111（内線：3441）
-----------------	--

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。